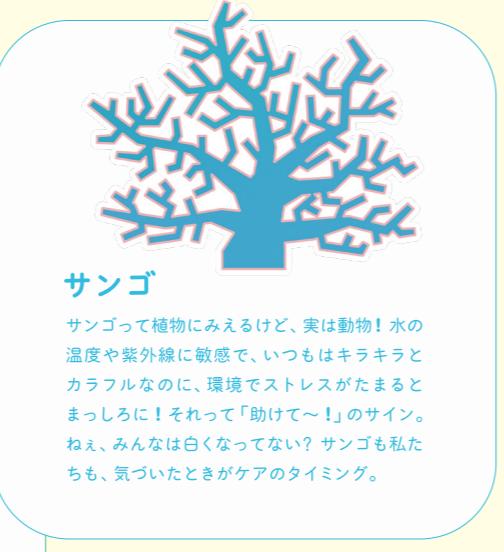




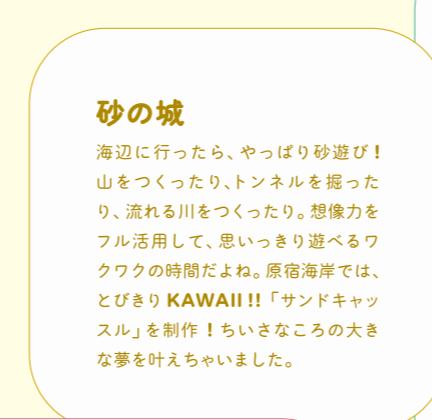
ウミウシ

えっ、海の牛？「モオ～」なんて、イメージしてた？「海の宝石」なんていわれちゃうウミウシは、原宿にびったりで海の映え代表！シンデレラウミウシ、キャラメルウミウシ、インターネットウミウシ……。ユニークなネーミングと個性派ファッションをぜひチェックしてみて。



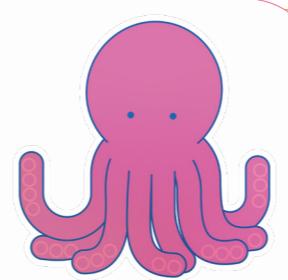
サンゴ

サンゴって植物にみえるけど、実は動物！水の温度や紫外線に敏感で、いつもはキラキラとカラフルなのに、環境でストレスがたまるとまっしろに！それって「助けて～！」のサイン。ねえ、みんなは白くなつてない？サンゴも私たちも、気づいたときがケアのタイミング。



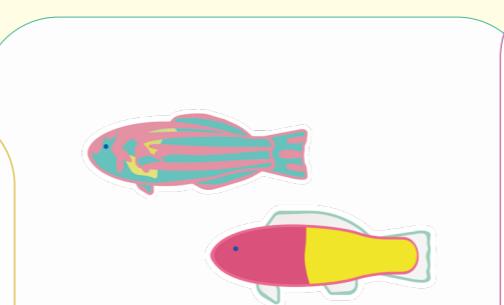
砂の城

海辺に行ったら、やっぱり砂遊び！山をつくったり、トンネルを掘ったり、流れる川をつくったり。想像力をフル活用して、思いっきり遊べるワクワクの時間だよね。原宿海岸では、とびきり KAWAII!!「サンドキャッスル」を制作！ちいさなころの大きな夢を叶えちゃいました。



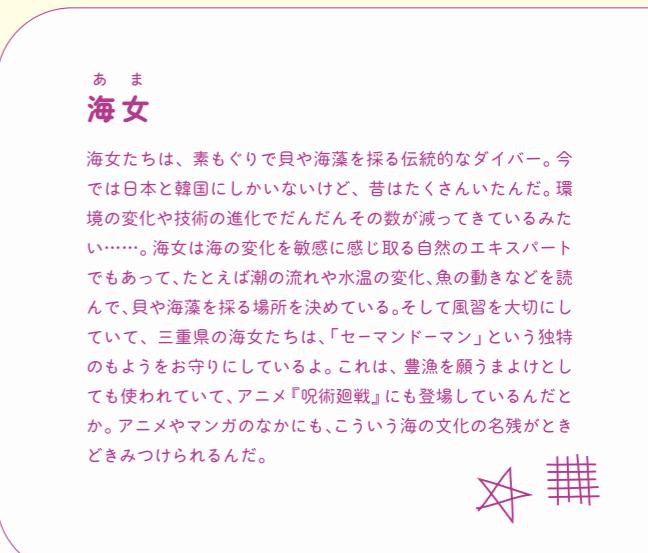
タコ

タコの丸くて大きな頭みたいなところ、実は「胴体」なの！本当の頭は8本の足とつながっている部分なんだって。しかも心臓は3つ、脳は2つもあるみたいだし、タコって未知数。天敵の皮膚の色をまねてカモフラージュすることもできちゃうし、ボテンシャルが高いい！



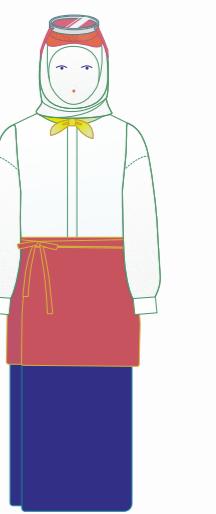
ちいさなさかな

日本各地の浅い岩場でひょっこり姿を見せるちいさな魚たち。今回 MINI MINI in the SEA で展示されているのはダンゴウオ。泳ぐのはちょっぴり苦手だけど、おなかの吸盤を使ってスイ～っと滑るように移動できるんだ。流れが速い場所でも、岩や海藻にぴたり貼りついでへっちゃら！恋の季節になると、オスはせっせとちいさな巣穴を準備。メスを招き入れて卵を産んでもらったら、そこからはオスの大仕事！口や切れを使って、卵に新鮮な水を送りながら孵化するまで大切に守り続けるよ。カラーバリエーションが豊富で、特に赤ちゃんのころ、頭に見られる白い輪っか「エンジェルリング」はとっても KAWAII!! と評判。そのキュートな姿に、思わずキュンとなっちゃうよね。



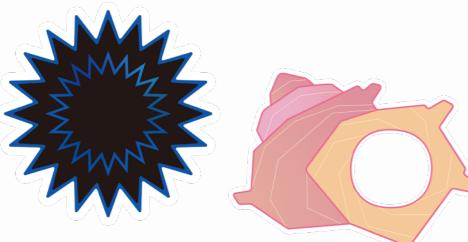
あま 海女

海女たちは、素もぐりで貝や海藻を探る伝統的なダイバー。今では日本と韓国にしかいないけど、昔はたくさんいたんだ。環境の変化や技術の進化でだんだんその数が減ってきてるみたい……。海女は海の変化を敏感に感じ取る自然のエキスパートでもあって、たとえば潮の流れや水温の変化、魚の動きなどを読んで、貝や海藻を探る場所を決めている。そして風習を大切にしている、三重県の海女たちは、「セーマンドーマン」という独特のものをお守りしているよ。これは、豊漁を願うまよとしても使われていて、アニメ『呪術廻戦』にも登場しているんだとか。アニメやマンガのなかにも、こういう海の文化の名残がときどきみつけられるんだ。



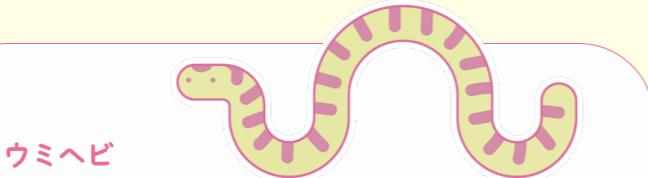
DISCOVER SEA is KAWAII!!

Copyright © 2025 3710Lab All Rights Reserved.



ゆれる波と恋ゴコロ

ウニのとろける甘さに、サザエのつぼ焼きジュウ～。プリプリのお刺身に、焼き魚、しみわたるお味噌汁……これぜんぶ海のおかげ！なかでも特に昔から人との関わりが深いのは、ワカメだって知ってた？水のなかでゆらゆら……。ただ流れに身を任せてぼ～っとしているだけに見えるけど、ゆられることでどんどん成長しているんだって。まるで人生のようだね。縄文時代から食べられていて、飛鳥時代にはラブレターの文面に「ワカメ」が登場することもあったとか。それくらい身近で、しかも恋ゴコロの象徴でもあったみたい。ワカメの動きにゆれる恋ゴコロを重ねちゃうなんてロマンチック♪あなたも海に「好き」の気持ちをのせてみる？



ウミヘビ

なんども脱皮をくりかえすことから生命の再生の象徴とされるヘビは、世界中の神話にでてくる。なかでも背が黒いウミヘビは海の神様の使いとして、日本各地で大事にされているよ。その昔、神様は海の向こうから来ると信じられていたんだけど、水平線って確かにすいこまれちゃうそうだもんね。



水着

水着って、昔は「ふんどし」が一般的だったって知ってた？江戸時代の海や川遊びといえば、男性も女性もふんどしスタイル。時代が進むにつれて洋風の水着が登場し、どんどんオシャレに進化していったんだって！海のファッション、歴史をたどると意外と奥深いなあ。今年はどんな水着で海に行く？



アイスクリーム

「あま、すぐ溶ける！」はじめてアイスを外国で食べた日本人は感動してしまった！日本初のアイスは、その名も KAWAII!!「あいすくりん」。みんなが海で食べたいのは、アイス？それともかき氷？ちなみに、清少納言は「削り氷」に「甘薺」という甘味料をかけて食べるのが推しだったみたい。渋い！



海とことば

山なら「ヤッホー！」だけど、海で叫ぶなら何？山はこだまして返ってくるけど、どこまでもつづく海に叫べば、願いをぜんぶ包みこんでくれてうまくいきそうな気がする。「好きだー！」って叫んだらその恋、叶っちゃうかも!? さあ大きく息を吸って、海に向かって叫んでみよう。

説
角島の海峡の若海藻(わかめ)は、
他の人には荒海藻(あらめ)だけど、
私には柔らかい素直なワカメですよ。
(万葉集 16巻 3871)

ねえ、最近いつ海行った？

原宿海岸に遊びに来てくれたみんな！最近いつ海に行ったか覚えてる？ある調査*によると、日本人の半数が1年に1回も海に行かないんだって。「海に行きたい」という人も59%と意外と少なめ……。小学生の75%は行きたい派だけど、親世代はあんまり望んでないというデータも。最近は海の楽しい話より、危険なことや問題ばかりを耳にすると、それも理由のひとつかも。海に行かない理由を聞いてみると、「何をしていいかわからない……」って声が多い。でも、のんびりしたい気持ちはあるみたい。だったら、とりあえず海に行って写真でも撮ってみない？それだけで気分が変わるかも。原宿海岸で海の楽しみ方をみつけてもらえたうれしいな。

*「海と日本人」に関する意識調査 2024 海と日本 PROJECT【日本財団】



「海と人を学びでつなぐ」
みなとラボは
次世代の教育をデザインする
プラットフォームです。

「海って広いし深いし、考えていると頭がクラクラ……」そんなあなたに「みなとラボ」！海のことをもっと身近に、もっと楽しく知ってもらうために、いろいろなイベントや学びのプログラムを企画しているよ。海をワクワクさせる秘密基地へ、いざダイブ！

